2019 年度　愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
3101220	家族論 Family Dynamics	榊原　昌代	基礎	2	選択	1年 前期

科目の概要

家族のあり方の多様化、また、家族の機能の縮小に伴い、家族の機能の役割について、いくつかの課題が問われている。そこで、その課題を解決していくために、私たち個人が社会の中でどのような存在であるのか、どのような役割であるのか、家族とは個人にとって何か、いくつかの現代の家族の問題のひとつひとつを考察していく。

学修内容	到達目標
①家族のあり方の多様化を把握る。 ②家族の役割とは何かを学ぶ。 ③親子の関係において親の役割について学ぶ。 ④現在の家族の問題を把握することで、家族の重要性を学ぶ。 ⑤日本の結婚の現状を把握することによって、家族とは　何かを学ぶ	①家族の状況を把握して、家族とは何かを理解することができる。 ②家族の機能が縮小している中家族の存在の重要性を把握することができる。 ③人間性を育てることの重要性から親子の関係を理解することができる。 ④家族の問題を理解することで、家族がいかに人間にとって重要な存在であるのかを理解することができる ⑤　結婚の現状を理解することによって、法律についても学ぶ

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	つねに問題意識を持ち、現代の家族の課題について考えることができ、現在の課題をまとめるという予習をしていく。
	働きかけ力	課題をみつけたら、その課題について話し合う機会をもつ。
	実行力	自分で課題について調べたこと配布されたプリントだけではなく、自分自身のノート等にまとめる。
考え抜く力	課題発見力	新聞などを読み、現在の社会の動きを把握し、現在の社会の課題には何かあるのかをみつけていく。
	計画力	
	創造力	社会の課題だけではなく、自分のまわりの新しい問題をみつけて、解決策をつくりだしていく。
チームで働く力	発信力	過去と現在の人たちの家族への価値観や現状のデータを用いて、自分の考えをまとめることができる。
	傾聴力	授業での内容を理解し、確認しながら、他の人と意見などを話し合い、理解を深めていくことができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	授業中は他の人の迷惑にならない授業態度をすることができ、授業でのマナーを身につけている。
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	

テキスト及び参考文献

テキストブック家族関係学」山根常男、玉井美知子、石川雅信編著　ミネルヴァ書房（参考文献）
随時、プリント、資料を配布する。

他科目との関連、資格との関連

家政学において他の科目と連鎖している。

学修上の助言	受講生とのルール
・毎回授業でプリントを渡すので、読んでくること。 ・授業で取り上げたテーマについて、自分なりに資料を活用して、自分の意見をまとめておく。	・授業中の私語は慎み、積極的に授業に参加すること。 ・配布したプリントや資料は講義ノートにあわせてまとめておく。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト	20	①	✓	授業の8回から10回のところで、今までの授業の復習も兼ねて、授業内容を理解できているか確認する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
レポート	60	①	✓	授業の内容を理解したうえで自分の興味のあるテーマを決めて、文献等で調べ自分の言葉でまとめる能力を評価する。 調べたデータから必要な図表などを自分で作成した場合、図表のまとめ方を評価する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
成果発表 （口頭・実技）				
作品				
社会人基礎力 （学修態度）	20	①	✓	（主体性） ・指示がなくても、授業を受講できる準備をすることができる。 （実行力） ・授業の内容を理解し、次回の授業までにその内容について復習をする。 （課題発見力） ・新聞などを読み、現在の社会の状況を把握し、問題をみつけることができる。 （創造力） ・現在の家族の問題の課題について、解決策を考えることができる。 （発信力） ・一つ一つの課題について、意見をわかりやすく述べることができる。 （傾聴力） ・担当の教員の講義をきちんと聴くことができ、自分でその内容をまとめることができる。 （規律性） ・遅刻、私語、学修意欲欠如、提出物の未提出、授業の途中退室など授業に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS（秀）及びA（優）の基準	到達レベルB（良）の基準
いくつかの参考文献を調べ、自分の言葉でまとめる能力に優れており、考察で自分の考えがきちんと述べられていること。また、必要な図表が自分で作成できていること。	いくつかの参考文献を調べ、自分の言葉でまとめるように努力をしたも

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	ガイダンス・授業の概要、授業のやりかた、評価の方法などを理解する。	講義と質疑応答 課題提出	プリントをきちんと整理し、理解することができる。	プリントの内容を復習する。	180	傾聴力
2週 /	家族の歴史、家族の特質、機能について理解する。	講義と質疑応答	プリントをきちんと整理し、理解することができる	プリントの内容を復習する。	180	情況把握力 創造力
3週 /	社会にとって家族はどのような役割があるのか、少子高齢化のわが国にとっての家族の現状と課題について理解する。	講義と質疑応答 課題提出	前週の内容を理解し、プリントをきちんと整理し、理解することができる。	プリントの内容を復習する。	180	課題発見力
4週 /	子どもの成長と発達において家族がどのように影響を与えるか理解する。	講義と質疑応答	前週の内容を理解しプリントをきちんと整理し、理解することができる。	プリントの内容を復習する。	180	傾聴力
5週 /	家族とは何か親とは何か、家族の多義性について理解する。	講義と質疑応答	前週の内容を理解しプリントをきちんと整理し、理解することができる。	新聞記事など家族に関連して記事について情報収集しておく。	180	課題発見力
6週 /	家族の歴史の中で家族がどのように変化をしてきたのか、家族の役割を考えながら学ぶ。	講義と質疑応答	前週の内容を理解しプリントをきちんと整理し、理解することができる。	新聞記事など家族に関連して記事について情報収集しておく。	180	発信力
7週 /	家族における問題点を具体的に捉えその問題がなぜ起こるのか学ぶ①	講義と質疑応答 課題提出	前週の内容を理解しプリントをきちんと整理し、理解することができる。	プリントの内容を復習する。	180	
8週 /	家族における問題点を具体的に捉えその問題がなぜ起こるのか学ぶ②。	講義と質疑応答	前週の内容を理解しプリントをきちんと整理し、理解することができる。	プリントの内容を復習する。	180	発信力

能力名:主体性　働きかけ力　実行力　課題発見力　計画力　創造力　発信力　傾聴力　柔軟性　情況把握力　規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週/	家族における問題点を具体的に捉えその問題がなぜ起こるのか学ぶ③	講義と質疑応答	前週の内容を理解しプリントをきちんと整理し、理解することができる。	今までの内容を復習しておく。	180	課題発見力
10週/	家族の問題で家族と暴力について現状とその対策について学ぶ。	講義と質疑応答	前週の内容を理解しプリントをきちんと整理し、理解することができる。	今までの内容を復習しておく。	180	創造力
11週/	家族とは何か、家族の歴史や問題について理解する。(今までのまとめ)	小テスト	今までの授業を理解し、重要なポイントが整理されている。	プリントの内容を復習する。	180	実行力 創造力
12週/	結婚と何かを考え、現代の結婚事情や夫婦のあり方を理解する。	講義と質疑応答 課題提出	前週の内容を理解しプリントをきちんと整理し、理解することができる。	プリントの内容を復習する。	180	情況把握力
13週/	女性のライフサイクルの変化が、家族にどのように影響を与えているかを理解する。	講義と質疑応答	前週の内容を理解しプリントをきちんと整理し、理解することができる。	プリントの内容を復習する。	180	発信力
14週/	結婚の多様化に伴い、現代のパートナー関係の変化について理解する。	講義と質疑応答	前週の内容を理解しプリントをきちんと整理し、理解することができる。	プリントの内容を復習する。	180	情況把握力
15週/	婚姻制度についてなど結婚と法律について学ぶ。	講義と質疑応答 課題提出	前週の内容を理解しプリントをきちんと整理し、理解することができる。	今までのプリントの内容を復習する。	180	発信力

能力名:主体性　働きかけ力　実行力　課題発見力　計画力　創造力　発信力　傾聴力　柔軟性　情況把握力　規律性
ストレスコントロール力